

(表1) 今後5年間の財政見通し

(単位: 億円)

項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	H26~H30		
歳入	市税	53.6	52.4	51.7	51.3	50.2	259.2	
	地方交付税	69.9	73.0	74.1	74.1	74.1	365.2	
	震災復興特別交付税	26.9	22.7	1.0	1.0	0.9	52.4	
	市債	31.2	36.2	23.0	13.1	13.3	116.8	
	その他	273.7	190.4	81.4	71.1	69.9	686.4	
	歳入合計	455.3	374.7	231.2	210.6	208.3	1,480.0	
歳出	義務的経費	119.5	126.2	128.1	126.3	124.3	624.4	
	内	人件費	40.9	40.7	37.8	36.9	36.7	192.9
		扶助費	55.0	61.0	64.0	64.1	63.2	307.1
		公債費	23.7	24.5	26.3	25.4	24.5	124.4
	普通建設事業費	95.0	112.8	26.4	6.4	6.4	246.9	
	繰出金	90.7	79.6	34.0	35.4	36.0	275.6	
	その他	157.4	66.6	49.8	49.6	48.7	372.1	
	歳出合計	462.7	385.1	238.2	217.6	215.4	1,519.0	
収支差引	△7.4	△10.5	△7.1	△7.0	△7.0	△38.9		

※四捨五入の関係で、内訳と合計は一致しません。

塩子 釜男
『との財政講座』シリーズ⑦
『財政見通しと財源対策』



「マイナス38.9億円」……なんの数字か分かる？

なんだろう？すごい金額だけど……今後5年間、塩竈市の財政状況が現在のまま推移した場合の収支不足額よ。

えーっ!?

新年早々、釜男くんを驚かせちゃったわね。歳入確保策や歳出削減努力をしないとこのくらいの収支不足が発生する見込みということなの。

なんか難しい話だな……

市では毎年、今後5年間の歳入と歳出の見込みを試算して「財政見通し」を公表しているのよ。今回の試算は平成26年度から30年度までの5年間で、毎年7億円程度の収支差が発生するという見通しが示されたわ。

(表1)

なんでそんなに大きな差になるの？

人口が減少し続けて税収の落ち込みが続く中、福祉関係費などの扶助費をはじめとした歳出が伸び続けていることが主な原因ね。

だとしたら、近い将来、財政がパニックしちゃうんじゃないか。

もちろん、ただ手をこまねいてい

る訳じゃないわ。マイナス38.9億円を埋めるための「財源対策」を考えるのも財政見通しの大きな目的なのよ。その対策をきちんと実行していくためにもね。(表2)

どんな対策なの？

具体的には、市税収入の確保、基金や地方債の活用などのほか、人件費総額の抑制や施設の管理運営形態の見直しなどを検討しているわ。それから、第5次長期総合計画や塩竈市定住人口戦略プランの実現にも取り組んでいかなければならないのよ。

ふむふむ。

でも、このような努力を一つ一つ積み重ねることで、今後5年間の収支は安定する見込みが立っているのよ。塩竈市は震災にもどんな困難にも絶対に負けないわ!



そっか、努力をすることで今後5年間は安心なんだね。塩竈市の復興のために、今年も精一杯頑張っていくぞー!

(表2) (単位: 億円)

項目	H26~30	
歳入	(1)市税収入の確保	5.6
	(2)市有財産の有効活用	1.0
	(3)各種基金の活用	20.4
	(4)市債の活用	3.9
	(5)広告料収入	0.1
歳入計	31.1	
歳出	(1)人件費総額の抑制	1.8
	(2)経常経費等の歳出削減	1.5
	(3)施設の管理運営費の見直し	2.6
	(4)決算剰余金	2.0
歳出計	7.9	
財源対策 合計	38.9	

問 財政課財務係 ☎364-11111

(内線238・239)

今、学校では…… 35

山形県村山市の中学校とのスポーツ交流

今年度から、市内の児童・生徒が、小学校は集団宿泊活動、中学校は部活動を通じて山形県の村山市と交流しています。今回は、中学校における交流の取り組みを紹介します。

この事業は、東日本大震災の際、本市が村山市から受けた支援を契機に、両市の将来を担う児童・生徒たちの交流を深め、互いの健全育成を目的としています。

12月7日(土)には、第二中学校、第三中学校、玉川中学校の3校が参加し、バスケットボールとバレーボールの2種目で交流。当日は、塩竈市の生徒がバスで村山市を訪問し、バスケットボールは葉山中学校、バレーボールは楯岡中学校で、それぞれ交流を深めました。

これまでも両市は、災害時の支援だけでなく、祭りや文化など多くの交流をしてきました。9月に行われた杉の入小学校の集団宿泊学習では、村山市の自然体験交流施設「やまばと」を拠点として、市内ではなかなか経験できない農家体験などの活動で、充実した3日間を過ごすことができました。今回の中学校における部活動を通じての交流も、充実した、互いの絆を深める取り組みとなりました。



問 学校教育課 ☎365-3216